



ivanti

資産データを 一元管理して保護

1つのプラットフォームで包括的に
統合されたIT資産のライフサイクル管理を
実現する方法

目次:

優れた成長は想定外の課題を伴います。組織がハイブリッド作業環境を採用すると、従業員の生産性が向上し、従業員の満足度が改善され、カスタマーサービスの対応力が高まります。しかし、IT チームは、膨大で多様なエンドポイントにまたがる、ますます複雑化する IT 資産を管理しなければならないという問題があります。同時に、社内の業務部門も、より現代的なワークフローに合わせて更新することに神経をとがらせています。

この eブックでは、包括的な概要、実践的な手順、および例示的なユースケースについて説明し、所有している資産を真の意味で把握できるようにします。

この文書は厳密に指針としてのみ提供されています。いかなる保証をも提供するものではありません。この文書には、Ivanti Inc.およびその関連会社（総称して「Ivanti」）の機密情報および専有財産が含まれており、Ivanti が事前に書面で同意していないかぎり、開示または複製が禁止されています。

Ivantiはこの文書または関連する製品の仕様ならびに説明について、いつでも予告なく変更を行う権利を有します。Ivantiは、この文書の使用に関する一切の保証を行いません。また、この文書に瑕疵があったとしても一切の責任を負わず、この文書の情報を更新することも約束しないものとします。最新の製品情報については、<https://www.ivanti.com/ja/> をご覧ください。

01 課題

02 解決

03 方法

04 利点

05 次のことを想像してみてください。

この eブックは、ITSM+ Toolkit の一部です



すべてのIT資産のデータを一元的に維持して管理する。

複数の検出ツールやインベントリツール間でレコードを照合し、IT資産追跡スプレッドシートで正確なレコードを維持することは、時間を消費することになります。インテリジェントツールの利点を活用してIT資産検出のプロセスを自動化しなければ、重要なアップデートをタイムリーに行うことができないかもしれません。

目の前の矛盾した情報を理解しようとしている間に、重要なIT資産が理、保護されないまま、ビジネスを危険にさらしている可能性が高くなります。そのため、すべてのビジネス資産を対象とした信頼できる唯一の情報源を作成し、それを継続的に更新することが不可欠です。



知っていましたか？

32%のITAMの専門家は、組織内の異なるグループのニーズが異なるため、別々のシステムが必要だと考えています。



53%

すべてのデータ損失やシステムのダウンタイムは、ハードウェアの故障によって引き起こされています。



既存のツールと統合され、1つのプラットフォームで提供する包括的な IT 資産ライフサイクル管理

IT資産管理ソリューション をご覧ください。すべてのIT資産を一元的に管理できます。これには、ハードウェア、サーバー、クライアント、仮想マシン、クラウドおよびソフトウェア資産のほか、それらの使用状況に関するデータ、パフォーマンス、保証状況なども含まれます。適切なソリューションでは、購入から廃棄まで、このような資産をすべて自動的かつ継続的に追跡できます。また、最新の購入、使用、支出情報 が一目でわかります。このようなインサイトはすべて、ITコストに関してより賢明な意思決定を行ううえで役立ちます。

すでに構成管理データベース (CMDB) を使用している場合は、どのようにしてこれらの 2 つのシステムを統合するのかを検討してください。IT 資産管理の改善計画を積極的に策定することで、ライフサイクル全体を通じて、すべてのIT資産の追跡、設定、最適化、戦略的な管理を実行できます。すべての資産情報を準備することで、サービスデスクはより速く、より効果的に問題を解決することができるようになります。また、セキュリティチームは、潜在的なコンプライアンスの問題やセキュリティの脆弱性を容易に特定し、組織のリスク管理をより効果的に行うことができます。



アクティブ ディレクトリーから取得するインベントリデータが十分でないのはなぜでしょうか？

多くの企業では、ITユーザーや資産を管理するためにアクティブ ディレクトリーを使用していますが、今日のEverywhere Work 環境を念頭に置いて設計されたものではありません。オンプレミスのデータセンター、クラウドアプリケーション・サービス、モバイルエンドポイントなど、IT資産が新しい拡大を見せる中、IT チームは、すべての資産を正確かつ効率的に追跡、管理するためのより強力なツールを必要としています。

組織全体で統合されたサステイナブルな資産管理プロセスを導入します。



正規化と照合とは何でしょうか？

正規化とは、資産の名称やその他の重要な情報を標準化することです。これまで使用してきたさまざまなデータソースからIT資産管理ソリューションに取り込む資産データを照合することで、すべてのIT資産に関する信頼できる唯一の情報源を作成できるようになります。

1

まず、**追跡する必要のある資産を定義します**。このステップでは、IT資産と非IT資産の両方を対象とした資産のマッピングを支援します。これにはハードウェア、ソフトウェア、消耗品が含まれます。次に、各資産タイプのライフサイクルを完全に追跡するために **収集する必要がある情報を決定します**。(例:使用状況、性能、場所、保証、ライセンス状況、契約、ベンダー、パッチ状況など) どのように管理対象資産と対象外管理資産を追跡するかについて計画を策定します。

2

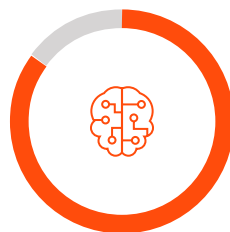
次に、すべての資産に統一された名称とカタログを付けることで、資産情報の正規化と照合を行います。これにより、組織が信頼できる唯一の情報源を作成できます。サードパーティの **データコネクター** は、既存のレコードを補強し、360度の資産ビューを自動的に作成し、継続的に最新の状態に保つことができます。

3

最後に、新しいIT資産管理プロセスを、通常の部門横断的なワークフローにどのように **組み込む** かについて、少し考えてみてください。そうすることで、信頼できる唯一の情報源が構築された時点で、見落とされる資産は何もなくなります。

④ 利点

- ✓ 単一のライフサイクル追跡と資産リポジトリ
- ✓ ベンダーおよび契約管理の改善とデバイスおよびライセンス管理の効率化によるコストの最適化
- ✓ あらゆる場所から資産管理



85%

IT担当者は
資産管理の自動化とAI投資を
収益性のある事業だと考えています。

Ivanti Neurons for ITAMの活用は、メリットをもたらします。テクノロジーソリューションの維持に毎年どれだけの費用をかけているかを確認し、たとえばオンプレミスのソリューションの代わりにクラウドベースのソリューションを採用してコストを削減する必要があるかどうかを判断することができるようになります。」

Jenny Rock (ジェニー・ロック) 氏：シアトル市、プロダクトエンジニア



次のことを想像してみてください。

**すべてのデータを一元的に接続し、
保護できるようになりました。**



あるエネルギー企業では、ITリクエストとIT資産を管理するために、2つの別々のツールを使用していました。ビジネスの成長に伴い、このようなツールが大きくなり、かさばりすぎようになり、企業の日常的な要件を満たせなくなりました。



サービス管理と資産管理の両方を含む統合化し更新することで、IT部門は、ITと非ITの両方を含む組織のすべての資産に関する信頼できる唯一の情報源を作成することができました。



これにより、ITチームのメンバーは、オンデマンドで社内のあらゆるIT資産にすばやくドリルダウンし、そのような資産に関する重要な情報にアクセスし、社員の生産性に影響を与える問題の根本原因を特定し、その問題を解決するために迅速に行動を起こすことができるようになりました。

完全版 ITSM+ Toolkit の次のステップをご覧ください。

Toolkit を表示

ivanti

ivanti.com/ja

03-6432-4180

contact@ivanti.co.jp